

県下1位の生産量！フラワーアレンジメントでも人気！

クルクマ収穫最盛期！

【7月17日（水）／碧南市内で収穫風景を紹介します】

JAあいち中央碧南クルクマ部会（部会長：伊藤正弘）が栽培するクルクマが、7月中旬から出荷の最盛期を迎えます。クルクマは東南アジア原産のショウガ科の植物です。1990年に大阪で開かれた「国際花と緑の博覧会」で初めて紹介されたもので、碧南市では93年から全国でもいち早く切り花の生産を始めました。

暑さに強く、ハスの花に似ていることから、主に仏花として用いられるため、新盆、旧盆の需要に合わせて栽培しています。夏場でも日持ちが良く、明るい色の品種が多いことから、ブライダルやフラワーアレンジメントでも人気です。

今年は3月の冷え込みの影響で出荷が遅れると予想されましたが、4月から5月にかけて暖かい日が続いたことから例年並みの生育となりました。品質は色・ボリュームともに良好です。



収穫する生産者

碧南市内で栽培している品種

同部会では、主力品種の「シャローム」を中心に苞葉が緑色の「チョコゼブラ」、白色の「モンブラン」など、25品種を栽培しており、「シャローム」が全体の約5割を占めています。

クルクマの花びらに見えるものは、苞葉（葉の一種）で、その下の小さな紫色のものが花です。



紫色の小さいクルクマの花



主力品種の「シャローム」

JAあいち中央碧南クルクマ部会

部会員：8人

栽培面積：約1.1ヘクタール

出荷時期：6月上旬～10月下旬（最盛期：7月中旬～8月上旬）

総出荷量：約36万本（全品種で）

流通先：東北・関東（約8割）を中心に、甲信越・中京市場にも出荷しています。

<メディア対応>

日時：2024年7月17日（水）午前6時50分

集合場所：JAあいち中央碧南ひがし支店（碧南市照光町5-27）

※碧南市内のハウス（車で約5分移動）で収穫作業の撮影、生産者へのインタビューを予定しています。

※天候や作業状況等により、日時・集合場所が変更になる場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

JAあいち中央総合企画部企画課広報強化対策室（担当：山村、杉浦、細井）

TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp